

会 議 録

会議名 (付属機関等名)	令和6年度 第1回川西市環境審議会		
事務局(担当課)	市民環境部 環境政策課		
開催日時	令和6年9月20日(金) 14:00~17:00		
開催場所	川西市役所 2階 202会議室		
出席者	委員	武田会長、竹濱副会長、豊福委員、花田委員、松原委員、伊藤委員、藤本委員	
	その他	松下施設マネジメント課長、中野施設マネジメント課設備担当課長、大島美化推進課長、相原教育保育課主査	
	事務局	岡本市民環境部長、人見市民環境部副部長、寺田環境政策課長、和泉主査、大田	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	報告事項 1 生物多様性ふるさと川西戦略について 2 環境の概況(令和5年度の内容)について 審議事項 1 第2次川西市環境基本計画について(進行管理表の報告) 2 川西市環境率先行動計画の進捗について 3 第3次川西市環境基本計画について		

<p>会議結果</p>	<p>1 報告事項「生物多様性ふるさと川西戦略について」他1件、審議事項「第2次川西市環境基本計画について(進行管理表の報告)」他2件について、委員に対して説明を実施し、意見を頂戴した。</p>
-------------	---

審議経過

<p>別紙「令和6年度 第1回川西市環境審議会 会議録」のとおり</p>

令和6年度 第1回川西市環境審議会 会議録

担当	進行
事務局 市長	<p data-bbox="330 288 585 322">以下のとおり説明</p> <ul data-bbox="330 389 647 611" style="list-style-type: none"><li data-bbox="330 389 580 423">・「次第1、開会」<li data-bbox="330 483 647 517">・「次第2、委員委嘱」<li data-bbox="330 577 647 611">・「次第3、市長挨拶」 <p data-bbox="394 674 458 707">内容</p> <p data-bbox="362 770 1272 804">皆さん、いつもお世話になっております。川西市長の越田です。</p> <p data-bbox="330 866 1447 1285">川西市の環境行政、幅広い環境問題がございますが、それぞれの得意分野、それぞれの地域活動やそれぞれの市民としてのお立場、そういったところから、私たち行政だけで答えを作ることは出来ませんので、いろいろな方からのご意見をいただきまして、しっかりと良いものが良い形で進んでいければと思っております。</p> <p data-bbox="330 1348 1447 1861">昨年度、我々は環境基本計画を策定いたしました。大体こういった計画を作るのは、短くて、1年半から2年、長いものでしたらもう少し時間をかけて作るというものが多いのですが、ほぼ1年で作り切っていたいただいたということで、担当と話をすると、その間本当に厳しいスケジュールの中で、多くのご意見、活発なご意見をいただいたと報告を受けています。心からお礼を申し上げます。</p> <p data-bbox="362 1924 1447 1957">その上で、今まで私たちは、こうした審議会の運営をすると、私の仕事は委</p>

囑状を渡したら、あとは「市長は公務があるから退席です」と言って、外に出されて、あとは事務局が行うということが川西では多かったようですが、審議会というのは、市長の諮問機関として、私が本当に今悩んでいること、考えていることを一緒に共有をしていただいて、それが正しいとか正しくないとかではなくて、それを実現させるとかではなくて、私が悩んでいるところに対してこういった問題、こういった視点があるのではないかとということで、お返しをいただきたいという趣旨から、まず私から少しお話をさせていただきたいと思っています。

環境問題は幅が広いのですが、本当に今私が悩んでいる、そしてやらなければいけないなと強く思っているところを2点申し上げたいと思っています。

1つは、今、本当に近々の課題で、ごみの有料化の問題、ごみ袋を指定して有料化しようという問題に取り組んでいます。これは持続可能な社会を作っていく、資源をいかに有効に使い、循環型の社会を作っていくのか、その1つの数値がごみの排出量だと思えますし、それを減量させるという取組みを通じて、より良い社会を作っていくんだという思いで進めさせていただいておりますが、一方で、最近のこの環境問題の業界にありがちだとは思いますが、少し極端な議論が増えている中で、我々として本当にこの大切さというものをどう伝えていくのか、身近な生活の問題として、環境問題をどう取り組んでいく

のか、ということが1つ大きな課題だと思っております。

2つ目が、この身近なごみ問題と同時に、より大きな環境問題としての地球温暖化の問題です。始まる前も少し議論させていただきましたが、今日は9月20日ですが、8月20日だったかなというような、もう今日は8月50日かもしれないな、というくらいの暑い日がずっと続いており、熱中症警戒アラートがずっと出続けるという中で、今までの私たちの生活や様々なものが変わってきている、ということをお私たちとしては実感しています。ただこういった問題というのは、その取り組みの成果がなかなか見えにくいということがありますので、それを「日本がやるんだったら」とか「川西でやるんだったら」とか、もっと大きく捉えて「中国にやってもらえよ」とか、「何で努力してる私達がもっと努力をしないといけないんだ」とか、そういった様々な議論があって、中には「地球は温暖化していない」とか、「CO₂が原因ではない」とか様々な議論があるのは私は良いとは思いますが。ただ、やはり行政としては、今多くの研究者や研究機関といったところで積み上げてきた、エビデンスに基づくものを優先して、それを採用していくという形をとっておりますので、我々としてもこの問題というものを市民一人一人、自分事として、できることをどうやって進めていくのかということを考えていきたいと思っております。

ただ多くの施策では、例えば土木事業であれば、行政が道路を造る、橋を造

るという意思決定をすれば、後は土地の買収等、一部の理解をいただく必要はありますが、その市の意思決定をもって、事業を進めることができますが、環境問題は、市がいくら旗を振ろうと、ごみを排出する市民の皆さんのご協力がなければ、資源の循環や減量化は達成出来ませんし、それをやるためには事業者の皆様のご協力も必要です。COの問題についても、私たちが旗を振って様々な制度を整えたとしても、最終的に市民の皆さんお1人お1人の意識や行動につなげていく、ここに非常に難しさを感じながら、私たちとしてもしっかり取り組んでいきたいと思えます。

そのため、今回の審議会のステージというのは、我々が皆様と共に作った計画を、どうやって市民の皆さんに伝えていき、実効性のある取組みとして、足りないところはどこなのか、足りない視点はどこなのか、もっと良くするにはどうしたらいいのかということ、我々が進捗状況などをご報告させていただくとともに、ご議論、またアドバイス等をいただければと思っています。

また、川西市のもう1つ大きな特徴というのは、やはり黒川の自然に代表される、里山に代表される、身近なところに山が、自然があり、黒川に里山という日本一の川西市の財産があるところです。そしてそれは、多くの市民の皆様ボランティアによって守られています。

猪名川も私たちにとって大切な自然であり、こういった自然を市民の皆様と

どういふふうを守っていくのかということも、私たちが本当に行政として覚悟を持って進めていかなければいけない、そんな取組みだと思っています。

私は市長に就任して6年で、実は政治家になったのは25歳の時でしたので、早いもので実は22年、政治家をしています。そのため、市長としては若手市長なのですが、政治家界隈でいうと、少しお兄さんであります。結構ベテランの雰囲気になってきました。その20代のときからずっと、未来への責任というのが1つの大きなキーワードだと思っていました。

未来の責任というのは、単に未来のために今がどうでもいいということではなく、今の幸せと未来の幸せをどう両立させるのかということで、夏は暑いのでエアコンを使わなければいけないけれども、いかに省エネをしていくのか考える、太陽光発電などの再生可能なものが出来ないのか考える、ごみは捨てないといけないけれども、例えば今日私はペットボトルではなく、マイボトルを持ってきていますが、ちょっとした工夫をし、できるところは水筒を持っていく、出来ないときはちゃんとお金を出して買う、こういう今と未来の幸せを両立させるということが私が政治家としてやっていきたいことの大きな柱であります。

そういう意味で、財政の問題というのは、実は20年間ずっとライフワークとして取り組んできましたが、この今と未来の幸せを両立するという点では、

事務局	<p>この環境問題がまさにこれからもっと取り組んでいかなければいけない課題だと思っておりますので、ここにいらっしゃる委員の皆様から、本当に忌憚のないご意見、アドバイスを頂いて、より良い未来をしっかりと創っていきたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 会議公開について・ マイク使用方法について・ 議事録について <p>内容</p> <p>議事録につきましては、事務局にて後日要約し、会長ご承認の上、委員のお名前は伏せた形で川西市のホームページへ公開させていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 傍聴について <p>内容</p> <p>また、本会議は傍聴が可能な会議でございます。本日の傍聴人はおられません。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 会議の成立について <p>内容</p> <p>本日の委員の出席についてですが、審議会につきましては、川西市環境審議</p>
-----	---

会規則第3条第2項の規定により、委員の過半数の出席が必要とされております。本日の出席は、定数10名に対し、7名で成立となっております。

・「次第4、会長副会長選出」

内容

本日、第1回目の審議会となりますので、新たに会長及び副会長を選出する必要があります。川西市環境審議会規則第2条により、会長及び副会長は委員の皆様の互選となっておりますが、事務局より提案させていただいてよろしいでしょうか。

《異議なし》

全委員

会長

・「次第5、会長挨拶」

皆様こんにちは。本日は公私ともお忙しい中、ご出席いただきまして、ありがとうございます。

先ほどの市長の挨拶にもありましたように、近頃すごい猛暑で、それがいつまでも続いています。また、今年の台風を見ても、進路はほとんど予測がつかないという状況です。それも日本だけではなくて、世界中の問題になっているわけですが、かたや乾燥で食物が出来ないとか、かたや洪水で被害が起きていたりとか、地球規模での問題が起きていますので、一気に解決するというのは難しいかもしれませんが、地道にやっていくしかないかなと思います。そのため、

<p>事務局</p>	<p>環境政策というものは非常に重要なものになると思います。</p> <p>本日の会議につきましては、この時間から開始ということもあり、時間に限りがあります。また今日の説明資料、報告、審議事項がかなり多いので、時間が足りないかもしれませんが、迅速に進めたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次第 6、委員紹介、事務局紹介」 ・市長との意見交換 <p>内容</p>
<p>会長</p>	<p>先ほどの挨拶でも申し上げましたが、地球環境問題というものは非常に大きな問題になっており、最初の市長の挨拶にもありましたが、どういうふうに行っていくかということが重要になります。それは行政、それから市民や事業者も一緒になってやっていかないと、なかなか出来ないだろうと思います。</p> <p>私は他市の環境審議会の委員もしているのですが、環境施策を実際実行するのはそれぞれの部局です。環境問題は、1つの部局で解決する問題というものはあまりありません。ただ、役所は大体縦割り行政が多いので、環境部局だけが頑張っている、全く他に情報がっていないということもあります。小さい組織は横の連携が取りやすいのですが、大きくなってくるとなかなか横の連携が取りにくいということがあります。そのため、横の連絡をとって、庁内で</p>

委員	<p>共通した問題意識を持って欲しいと思っています。</p> <p>私は他自治体でも環境審議会に関わったことがありますが、最近環境省の脱炭素先行地域に多くの自治体が採択され、補助金をもらって再エネの推進に努めていますので、そういったことをぜひ川西でも取り組んでみたらいいと思います。補助金の率も3分の2くらいもらえたと思いますので、これを機会に利用してみてもいいでしょうか。</p> <p>私が川西で気になっていることは、多田地区辺りで浸水リスクの高い地域があったと思いますが、あの辺りの指定避難所に太陽光や蓄電池、或いはEVを入れるなど、ぜひ考えていただきたいですし、この市の北部にはとても緑豊かな地域があるので、地元の企業さんと協力し、脱炭素先行地域の川西らしいプロジェクトに取り組んでいくのが良いと思います。</p> <p>特に、ゼロエミッションビルディングの模範例になるような取り組みを行ってみるとか、地中熱利用を考えてみるとか、それからごみの有料化についても、しっかりと説得していけば、皆さんも協力していただけるのではないかなと思いますので、ぜひ考えてみてください。よろしくお願いします。</p>
委員	<p>実は環境審議会に入る前は、一般廃棄物の会長をやっていました。そのときには市役所の入口に一般廃棄物の掲示がありましたが、現在はそうした一般の方のご協力が数値として見えるようなものがない気がします。また、ごみの事</p>

委員	<p>務所が北部に移ったことで、ごみに関する相談がしにくくなっています。</p> <p>一般廃棄物の審議会において、前会長から引継ぎまして、現在会長をさせていただいております。一般廃棄物減量の審議会をさせていただいている中で、川西さんについてすごく感じるがあります。</p> <p>1つ目は、職員の方が、取組みに対して非常に熱心だということで、特に上手だなと思うのは、キャラクターの使い方です。例えば「中年カラダ」といった、かわいいだけじゃないキャラクターがパッカー車の横についていたり、きんたくんはとてもかわいいですし、そういうものを上手に使いながら、食品ロス対策などに市民も巻き込もう、という施策をやっているということで、特にご担当の職員の方がとても熱心だったという印象があります。</p> <p>それから、次に企業の方ですが、阪急さんやダイエーさんといった、大きい企業の方も審議会に入ってくださいしていますし、商工会からも1人入ってくださいしています。商工会の場合は業種が様々ですが、業種に関わらず、地に足がついたご意見を頂いていて、かつ大企業の方がとても熱心で、自分たちもどうしたらいいだろう、どうやったら皆さんに伝わっていくかということを考えてくださっています。</p> <p>最後に市民ですが、市民の方も熱心です。ごみ袋をどうしようかという議論について、私は正直、自治体の事例など拝見していて、一足飛びにはとても難</p>
----	---

しいだろうなと思ったので、最初は指定袋制度の検討をしていたつもりだったのですが、「同じような説明を職員の方が指定袋と有料化と2回にわたってするのは大変なので、有料化してしまいましょう。」という意見が市民の委員の方から出てきました。そのため、今回の審議会で、市民委員の方がお二人いらっしゃるのが、とても多様性があっていいなと思いました。年代的にもそれから生物的にも、きっとすごく良い意見を出してくださるだろうなと思います。

先ほど委員のお話で、脱炭素先行地域の話がありました。昨日、脱炭素先行地域をやってらっしゃる自治体が、事業者を決めるという選考のため、第1回目の会議がありまして、私もそこで3分の2の補助と知って、すごいなというふうに思いました。

それで、例えば随分前の、SDGsの先行地域のことですが、とある自治体で、環境基本計画の改訂をやっていたときに、SDGsという言葉が1つも案になかったことが気になりました。5年や10年の計画なので、絶対SDGsが前面に出てくるから入れたほうがいいと進言しますと、すごく勉強熱心で、そのあとSDGsのことをすごく考えて、環境部局だけじゃ駄目だということも分かってくださり、結局市長室直轄のところ音頭を取って、その自治体は第1回目のSDGsの未来都市の選定を受けることができました。そこで思うのですが、こういうものは第1回目を取りやすいのです。そのため、他の自治体がやってい

て、いいなと思ってやろうとすると、第2回目、第3回目となるので難しくな
っていきます。したがって、ぜひ川西市さんもアンテナを高く張って、思い切
って先行してやってしまうと、結構採択していただけるのではないかなと思う
ので、ちょっと早めにやられるといいと思います。

また環境問題については、みんなで行うということがすごく大切で、これは
市の中の部局もそうだと思うのです。環境部局だけでは絶対進まないの
で、ぜひ皆一緒に、環境を1つのツールみたいにして、みんなで持続可能なまちをつ
くっていくことのきっかけにさせていただけたらいいなと思いました。

委員

昨年、突然、環境審議会委員になり、素人が何を言っているかわからない状
態だったのですが、今年もまた引き続きお願いしますという打診があり、担当
の方から市民の方のお話を聞かせていただきたいという話を受けましたので、
気軽に話をさせていただこうと思います。

私は、10年ほど前まで自治会長をしていたのですが、環境とはごみのこと
だと思っていました。そのため、ごみの管理、例えばクリーンアップ大作戦で
あったり、美化推進課さんとの付き合いでゴミ袋をもらいに行ったり、そうい
うことを主にやっていました。

昨年そういう経緯で、環境審議会委員になった時に、環境問題はごみだけで
はなく、空気や水、交通問題など様々なことがあると分かり、少しずつ勉強さ

	<p>ていただいているのですが、今コミュニティの会長ということで、今年の12月に、国崎と豊中の原田の見学をしてもらい、そのときの参加者の方に、ごみの処理や下水道処理を見ていただいて、皆さんの関心を少しでも高めていただけたらなと思っております。</p> <p>あまり難しい話は出来ませんが、頑張っていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>私は大学時代に環境問題を経済や経営の力でどう改善していくかといったことを学んでおりました。今はもう環境には関わっていないのですが、一市民として経済の面から思うことをお伝えできればなと思います。</p> <p>先ほど市長からあったごみ袋有料化について、なぜごみ袋を有料化するとごみが削減できるのかを教えていただきたいです。</p>
委員	
市長	<p>専門家の先生方の前で、私が話をするのは恥ずかしい部分ではありますが、私たちはごみの組成分析を行っています。ごみ袋を一度開けて、どんなごみが混ざっているかを見ると、まだ食べられるようなフードロスの割合が大体1割くらいあり、また本来であれば、資源化できるものが2割くらいあるので、平均的に燃やすごみ以外のものが全体の3割くらい入っています。そこでごみ袋有料化となると、どうしても人間の心理として、負担をしたくない、損はしたくないという思いがあるので、物を買うときにできるだけごみにならないものを</p>

	<p>買おうとか、そのままごみに捨てるのではなく、もう1回利用できるものにならないかとか、そういった行動に変わっていくということが、予測されているので、多くの自治体では、有料化をした翌年以降から、急激に1人当たりのごみの量は減っています。</p> <p>1枚10円で買えるものに、プラス10円とか20円とかの手数料をつけて、袋を30円を買っていただき、そのごみ袋で出してもらわないと、我々は収集しません、というルールにすることによって、人間の心理として、自然にごみの減量に繋がっていくということが想定されます。多くの人の行動としては、減らす方向に行くのではないかと思います。</p> <p>「エコポイントをプレゼントします」といったお得感があると、結構広まるのかなと感じました。</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>日頃は国崎や清和台で森林ボランティア活動に参加しております。この会議は里山の保全と、小学生の環境体験について、特に関心を持って聞かせていただいております。どうぞよろしく申し上げます。</p> <p>さて川西市の売りの1つとして、先ほど市長からもありましたが、美しい里山の景観というものがあります。その保全は、ボランティアとして自然活動団体が担っているのはご承知のとおりでございます。今共通の課題は、彼らの高齢化と会員の減少です。私の会員の例でいうと、約25名のうち70歳以下が3</p>
--	--

名しかおりません。最高齢が83歳という状況です。会員を増やせない要因はたくさんありますが、その1つにトイレがないという問題があります。かなりの団体が、このトイレがないという状況で活動をされています。我々の会で言うと、バイオトイレを設置したいのですが、電気の設備がありません。活動地には、地元の小学生の体験学習や、中学生のトライアルで多くの子供たちがやってきます。また毎月第2日曜日には、市民の観察会を開催して、毎回数組の家族がやってきます。電灯や電気工具は、何とか発電機やソーラーパネルで対応しておりますが、最寄りのトイレは500m先の商業施設、或いは清和台の中央公園まで行く必要があります。トイレは活動をスムーズに進める上での大切な要素になります。電気の設備の問題は、私の会のほんの1つの例ですが、里山を保全している他の団体でも、様々な問題を抱えていると思います。ただ、行政と団体をつなぐ窓口が、産業振興課であったり、公園緑地課であったり、環境政策課など、はっきりと分からず、積極的に相談に行けないのが現状です。市役所に専門の窓口があれば、潜在的な問題が浮き彫りにされ、活動がより活発になり、ひいては会員も増えると考えております。里山係のようなものが里山がある川西にあってもいいのではないのでしょうか。環境政策でいう、いわゆるボランティアの支援に繋がると考えております。

市長

たくさんのご意見ありがとうございました。少しまとめて、私の思いを改め

てお伝えさせていただきたいと思います。

脱炭素先行地域は我々も何とかチャレンジしたいと思っています。ただ、私たちが以前から環境省の出先機関の方と相談すると、なかなか川西らしい、新しい先行地域にふさわしい内容というところでハードルが高く、そのハードルの高さをどうやって超えていくのかということで、踏み出せていないところなのですが、皆様の今までの研究の中で、実はこういうことをやりたい、フィールドになる自治体を探していたんだということで、我々にこんなことをやらないかとご提案をいただきますと、担当のほうは勇気を持って、1歩踏み出すはずだと思います。それを私がしっかりと後押しをしていきたいと思っておりますので、この審議会の中で、ご議論、ご提案をいただければと思っております。

一方で、電気代が高くなっていることを考えると、自然エネルギーを使う、再生可能エネルギーを使う、別の本当に安定的な電気をしっかりと供給する体制を整えるということが、もしかしたら、市民の生活の質を良くするのではということ、ひとりで空想しておりましたが、まだ具体的に指示ができるレベルでもない、また少し議論をさせていただきたいと思っております。しっかりと考えていきたいと思う大切な話題だと思います。

また、縦割りではないかという意見については、まさに我々も悩んでいるところです。里山係もですが、作れば作るほど縦割りになっていくますし、どう

しても公共施設側からは、環境の大きな方針がないのに、「全部太陽光パネルをつけましょう」というのはなかなか言えない状況ですが、しっかり横での協議をさせていただきたいと思っています。同時に委員がおっしゃっていたとおり、どこに相談に来ていただいても川西としては大丈夫だと思っています。

「里山の件で」と言って環境政策課のほうに来ていただくと、課長は庁内幅広く人脈を持っておりますので、そのネットワークの中で、「では我々から推薦をするからこういうことを一緒に考えないか」とか、例えば参画協働の部分など、様々なところでお手伝いできる場所があると思いますので、どこに声をかけていただいてもいいと思いますが、一番お声のかけやすいところに声をかけていただければ、そこから動くことができると思っています。

委員がおっしゃいました一般廃棄物の掲示の件については、確かに無くなりましたが、あれは実は、私が市議会で松江市に行ったとき、当時ごみ減量貯金制度という制度で、ごみを減らしていったら、それをポイントにして貯金をし、環境政策に回していこうというスキームが松江市にあることを知りました。それを川西市もやろうという提案をしたところ、お金のほうはついてきませんでしたが、まずは見える化を行いました。そして今は、SNSを通じて発信を行っています。

所管課

公式 LINE でごみの実績を発信させていただいています。また、ホームペー

委員	<p>ジでの更新もさせていただいております。</p> <p>ホームページまで行くと見られますが、市役所で普通に見られたものが見られなくなったので。</p>
市長	<p>あとはデジタルサイネージという手段で、駅の一番人が通るところに広告を打てたり、アステ川西に、最近ご寄附いただいたお金で、ビジョンを作ったりしていますので、ごみについて関心がない方が自分事にしていただくために、そういった人がいるところに掲示していくといった工夫が必要なんだなと思いました。特にごみの有料化をするのであれば、市民の皆様にも成果や集まったお金も含めて、見える化をしないといけないと思いました。仮に何千万円集まったのだったら、それがこれくらいのエコポイントに繋がりましたとか、このお金で高齢者の皆様のごみ出しをお手伝いしますとか、環境活動をしている方への支援をしますとか、そういう形で、ごみの有料化というものを1つのツールにして、さらにそれが新たなリサイクルとか、減量化とか、こういった環境問題に繋がる、こういうサイクルを作っていく、またこの金額が市民に返ってくるんだ、ということをしかりと伝えていくことで、市民の皆様のご理解が進んでいけばという思いです。公共施設の再配置の関係で、少し遠いところに行ってしまう、マネジメントもなかなか難しいですが、その分担当部長も置いて、今頑張っておりますので、また様々なご意見をいただければと思っています。</p>

	<p>バイオトイレといったお金がかかる問題については、まだ明確なお答えは出ませんが、自然活動団体の皆様が好きで楽しくやっていただいているということが前提ではありますが、自分のためにやっている活動ではなく、公益のためにやっていただいている活動ということですので、その活動がなくなり、災害が起きたり、この環境が守られない、自然が守られないという状況は、私たちにとって大きな課題を生み出すことになりますので、具体的に活動がどうやったら継続するのか、今だけではなく、未来に向かってどうやれるかということも、環境政策課が中心となって協議させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>バイオトイレそのものはお金でなんとかなります。ただ、電気を引っ張るのは、我々では出来ません。</p>
市長	<p>そういうところで横におせっかいをかけられる職員を、私としても増やしていきたいですし、おっしゃるとおり環境政策は、やはり環境部門1つでは難しいので、そういったことを踏まえて、しっかりやっていくことが私の仕事だと思います。引き続きよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>《市長退席》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局紹介 ・配布資料の確認 <p>ここからの議事進行は、会長にお願いしたいと思います。審議等において、</p>

	<p>意見のある委員は挙手いただき、お名前を述べられてから発言していただきま すようお願いいたします。</p> <p>それでは会長、よろしくお願いいたします。</p> <p>・「次第 7、報告事項」</p> <p>内容</p>
会長	<p>それでは、「次第 7、報告事項」に入ります。</p> <p>本日の報告事項は 2 件ございます。</p> <p>まず、報告事項(1)「生物多様性ふるさと川西戦略について」事務局より説明 をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、(1)「生物多様性ふるさと川西戦略について」説明いたします。資 料につきましては、資料 1-1 から資料 1-5 までございますが、資料 1-1「令和 6 年度第 1 回生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会（川西市環境審議会部 会）次第」に、当日の内容を記載しておりますので、この資料に沿って説明い たします。詳細については各資料をご参照下さい。</p> <p>資料 1-1、次第 2 の委員紹介につきまして、前委員の任期が令和 6 年 3 月 31 日付で満了となったため、委員長を含めて 6 名の委員に新たに委嘱状を交付 し、新たな委員として 2 名の委員に就任いただいております。任期は令和 6 年 7 月 1 日から令和 8 年 6 月 30 日までの 2 年間でございます。</p>

続きまして、次第の3で「生物多様性ふるさと川西戦略(概要)について」説明を行いました。生物多様性ふるさと川西戦略推進委員会で審議し、環境審議会より答申いただいた、生物多様性ふるさと川西戦略は、無事に令和6年3月に一部改訂を行えました。戦略について、当日は新しい委員もいることから、計画の構成、策定の目的、改訂の趣旨、進行の管理システムについての説明を行いました。

なお、戦略の改訂については令和5年10月5日、令和5年度第2回川西市環境審議会で答申案として承諾していただいた後、市議会、パブリックコメントのご意見をもとにイラストの配色、生物名称表記の修正などを行っております。

続きまして、次第の4、審議で「生物多様性ふるさと川西戦略 進捗状況調査(令和5年度)について」の説明を行いました。

ここでは、令和5年度の指標の状況を数値で表した評価指標や、進捗状況調査に対する自己評価を説明し、委員のご意見をいただきました。

主なものとしては、「里山体験学習は学校ごとにされているが、指導者がいる授業とそうでない授業で子供たちの学びの深さに違いが出ている。これは重要なことだと思う。黒川里山サポーターのおかげで子供たちの学びにつながっているのだと思う。支援団体の方のサポートを得られるように市のほうでも支

援をしていただきたい。」や「JR 川西池田駅にクヌギがあることは気付かなかった。クヌギがあるというのが市民の方が見てもわからないのでは。里山の PR が目的ならば、もうちょっと PR してもいいのかなと思う。」、また「シカの食害の防止対策として行われている防護柵設置等に関する補助について」や委員会全般に関するご意見として「市民環境部事務局のみの出席ではなく関係者が出席して、一緒に協議していただくことが可能であれば、ぜひお願いしたい」というご意見を頂きました。

これらのご意見は関係各課にフィードバックして今後の施策に活かしていきたいと考えております。

ここで、資料 1-5 をご覧下さい。当日のご意見は資料 1-5「生物多様性ふるさと川西戦略 進捗状況調査（令和 5 年度）」右端の「専門委員意見と回答」欄に記載しております。

また、当日はその他の意見としまして、「生物多様性ふるさと川西戦略改訂版」に対する委員意見がございました。

冊子「生物多様性ふるさと川西戦略 2024 年度改訂版」をご覧ください。生物多様性ふるさと川西戦略 124 ページ、^②出在家町(川西北小学校横)キセラ川西の市街地水路の水生生物群の市ホームページ上での表記の仕方について、どこに水路があって、どこに水生生物がいるのかということがわかってしまう

と、採ろうとする人間が目を付けて取りに来る可能性もあるので、今後、詳細な場所がわからない形、例えば「市中部」などの形で表記してほしいという提案があり、それについて協議しましたが、情報を表に出して、地域を挙げてみんなで守っていくということが大事である、現地に保護している旨の看板設置をしたらどうか、などの意見があり、市ホームページの表示については、今後也表示する一方で、現地に貴重な区域だと分かる看板を設置するなどの方向で検討して参ります。

資料 1-1 に戻りまして、5 その他としまして、事務局の方から多田院地区で特定外来生物のナガエツルノゲイトウが発見されていることなどの報告を行いました。

以上、「生物多様性ふるさと川西戦略について」の説明を終わります。

会長

それでは、報告事項(1)「生物多様性ふるさと川西戦略について」何かご意見等ございませんか。

会長

キセラ川西の水路に希少な生物がいて、その種名を挙げてますが、種名を挙げるとそれを取りに来る人がいるのではないかという意見があります。ただ隠してしまうと、いつの間にかいなくなってしまうということもあり、むしろ保護をしているという看板を置いたらどうかという意見がありました。最近の流れとしてはそういう希少種があると、保護をしているところが大々的に「保

委員	<p>護しています」という看板を置いているところも結構あります。</p> <p>資料 1-4 で「1 年間に支援したボランティア数」とあり、数値が 250、267、153 と推移していますが、そもそも支援というのは、金銭的な支援なのでしょうか。どういう支援なのでしょうか。</p>
事務局	<p>産業振興課から回答をもらっている分になりますが、基本的に金銭的な支援です。数自体は把握していないけれども、活動が減ってるというよりは、支援してる部分が減っているという形で聞いております。</p>
委員	<p>1 年目が 250 で 2 年目には 153 ですよね。金額は絶対額で表せるんですか。金額っておっしゃいましたけれども。</p>
事務局	<p>250 万円とかそういった形ではなくて、これはあくまでも件数なのです。金銭的補助制度という言い方がいいのかもしれませんが、その活用人数です。川西市の支援制度を受けていただいている人数ですね。</p>
事務局	<p>金銭的な支援をしていますが、概ね保険料相当を支援しているというのが令和 5 年までの動きでしたので、このような表記になっているということです。コロナ禍もあって人数が減ったり、そういう状況が多少出ているのかなというところがございます。令和 6 年度からは補助のあり方を少し変えているので、それについては各団体にご説明を産業振興課の方からさせていただいている状況でございます。</p>

委員	<p>資料 1-5 で「改訂で削除した施策」、「改訂で新設した施策」というのを挙げていただいております。それで例えば、3 ページ目に「9」と「10」があり、「10」が「削除した施策」として灰色になっていて、「新設した施策」が黄色になっています。これ比較すると、施策内容が「川西学検定の実施などを通して」というものが削除されてるように思うのですが、この表記の仕方がよく分かりません。あえてこれだけのことを「削除した施策」、「新設した施策」とされているのは何か意味があるのでしたら教えてください。</p>
事務局	<p>昨年度環境基本計画に合わせて、生物多様性ふるさと川西戦略を一部改訂させていただきました。部会がありますのでそちらで一定ご議論をいただいた中で、最終的にはこの環境審議会でもたご意見をいただき、最終答申させていただいていますが、その際にこの施策について、当然長期的な部分であることから、既にもう馴染まなくなっているもの、例えば施策として終了しているものを各課に問い合わせしていく中で整理をしました。今回はちょうど年度替わりの時期でしたので、「これまではこういった形でやっていたよ」、「これからはこういった形でやっていきます」というのを見える化するために、両方表記しています。ただ、施策全体がなくなったわけではなく、部分的に無くなっている項目もありますので、そういった意味では「削除した施策」とか「新設した施策」という単語が若干馴染まないかもしれませんが、この両方が見える</p>

<p>委員</p>	<p>化した状態で、審議会などにご提供させていただく方がお話しやすいかなという意図で表記しています。</p> <p>「削除した施策」はまだいいのですが、「新設した施策」が新たにこの施策を作ったように解釈されてしまいます。古い方を併記していただいているので、ここは削れただけだと分かりますが、それがないと考えると、新たに「10」が改訂で付け加わったと解釈される気がするのですが、このあたりはいかがですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>この資料は、本日の審議会でお諮りするにあたって作らせていただいた資料になっています。ただこの審議会の記録自体も公開させていただくこととなりますので、誤解を与えないように、説明を加えさせていただく方が丁寧かなと思いますので、今回のタイミングで入れさせてもらえればと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>資料 1-4 の「研修を受けた年間の教職員数」ですが、45 から 19 で減っています。どういった教育をされてるのか、どうして 45 が 19 になったか、といった回答は出ましたか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今日のご報告は、前回の部会で回答した内容のご報告をさせていただいている状態です。部会でご質問いただいたときに、環境政策課の人間もここの聞き取りがしっかりできていなかったのも、一旦お預かりをさせていただいている状態です。次回の生物多様性ふるさと川西戦略、1 月末か 2 月ぐらいを予定し</p>

	<p>ていますが、そのときまでに回答を整理させていただき、報告させていただき ますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>続きまして、報告事項(2)「環境の概況(令和5年度の内容)について」事務局 より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、(2)「環境の概況(令和5年度の内容)について」説明いたしま す。お手元の資料 「環境の概況(令和6年度版)」をご覧ください。</p> <p>「環境の概況」は本市の1年の環境施策の結果をまとめたものとなってお り、今回配布している令和6年度版につきましては、令和5年度の状況をまと めたものとなっております。お手元の資料では、昨年度から変更した部分を赤 字で示しています。この審議会でいただいたご意見を参考にして、必要に応じ て変更し、最終版を冊子にする予定です。</p> <p>ページが飛びますが、23ページの表3-3 温室効果ガス総排出量の、令和5 年度をご覧ください。令和5年度の公共施設における温室効果ガス排出量は1 万2,837(t-CO₂)と、対基準年度比115.7%(約15.7%増加)という結果にな りました。次にその下の表をご覧ください。コピー機での印刷枚数は213万2,551 枚と基準年度比48.5%で、目標年度である令和6年度の70%を達成しており ます。後ほどの環境率先行動計画の報告時で詳しく説明いたします。</p> <p>32ページをご覧ください。32ページから47ページで本市における大気の大気</p>

況を記載しております。測定の結果、1年通して目立った異常は見られませんでした。

次に55ページをご覧ください。55ページから61ページで、本市における水質の状況を記載しております。

57ページの(2)生活環境項目をご覧ください。測定の結果、pHおよび大腸菌数の数値が全体的に増加し、環境基準適合数が減少しました。水質業者に確認したところ、pHの増加については、一般的に河川が富栄養な環境では藻類(植物プランクトン)が増殖し、二酸化炭素を光合成に利用(消費)することで、pHがアルカリ性に傾くことが多いということです。また大腸菌数の増加については、一般的に人や動物などの排泄物による影響、上流における肥料の散布などが考えられるということです。

変更につきまして、56ページをご覧ください。備考の3、PFOS及びPFOAについて令和6年度から調査を実施することとしておりますので、来年度の「環境の概況」にて報告いたします。

次に66ページをご覧ください。66ページから71ページで本市の騒音、振動についての状況を記載しています。

69ページの表7-9をご覧ください。令和5年度自動車騒音測定結果及び環境基準の適否について、久代浄水場前の騒音測定において環境基準値に不適合で

	<p>したが、要請限度には適合していました。その他の測定地点の騒音、振動については、環境基準値に適合した結果となりました。</p> <p>85 ページをご覧ください。第 9 章の「ダイオキシン等の新たな化学物質問題」の第 4 節に新たな問題として、近年問い合わせが増えている「香害」についての説明を追加しております。</p> <p>87 ページ、表 11-1 をご覧下さい。令和 5 年度の「本市で対応した公害苦情総件数」は 63 件で、令和 4 年度と同数でした。令和 4 年度と比較し、大気汚染、振動、悪臭に関する苦情が減少し、水質汚濁、騒音、その他に関する苦情が増加しました。</p> <p>以上で、(2)「環境の概況（令和 5 年度の内容）について」説明を終わります。</p>
会長	<p>それでは、報告事項(2)「環境の概況(令和 5 年度の内容)について」何かご意見等ございませんか。</p>
委員	<p>56 ページに「PFAS 及び PFOA について令和 6 年度から調査を行います」となっていますが、調査する地点の数や地点の場所はどのような状況でしょうか。</p>
事務局	<p>55 ページをご覧ください。河川調査は 12 地点やっております。この箇所ですら通常やっている項目に PFOS、PFOA を追加して行います。ただ、今年度につ</p>

	<p>きましては年1回を予定しています。8月20日頃に採水をしております。今のところ、暫定基準値的には問題ないという状況です。また正確な報告を受けた時は周知していこうと考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>57ページの生活環境項目で、プランクトンの発生状況のことが書かれてますが、プランクトンの発生状況は水温との関係はないのでしょうか。最近温暖化の影響で水温が上がっており、その影響で藻類が発生しますので。</p>
<p>事務局</p>	<p>数字があまり良くないこともあり、業者の方に一般的にどういう要素が考えられるのかをご質問させていただいた内容を記載しています。ここの部分でもし委員の皆様の中で、「一般的にはこういうことではないか」といったご意見があればご教示いただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>新名神周辺の道路騒音の苦情は少ないですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>新名神の関係で、直接市の方に交通に関する騒音苦情等は入ってきていない状況です。新名神および新名神に関係するインター線についても、まだそれほど住宅が張りついていないという背景があるのかもしれません。ただ、新名神に乗るためのインター線沿いで騒音測定を試行的にしようかなと今動いているところです。</p>
<p>会長</p>	<p>多分大型車が増えたりすると影響がでてくるかもしれませんね。</p>
<p>会長</p>	<p>・「次第8、審議事項」</p>

事務局	<p>内容</p> <p>続きまして、「次第 8、審議事項」に移ります。</p> <p>本日の審議事項は 3 件ございます。</p> <p>まず、審議事項 「第 2 次川西市環境基本計画について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>それでは、(1)第 2 次川西市環境基本計画について(進行管理表の報告)」について説明いたします。</p> <p>お手元の、資料 「川西市環境基本計画 進行管理表 R6 年度調査」をご覧ください。これは「第 2 次川西市環境基本計画の進行管理計画指標」に基づいて進捗管理を行うため指標について集計したものです。</p> <p>今回は第 2 次環境基本計画の進行管理表の内容の報告となり、令和 5 年度のまとめ、第 2 次環境基本計画の総括をおこないます。来年度以降は第 3 次基本計画の進行管理表の内容に基づき進行管理をしていきます。</p> <p>次に進行管理表の見方ですが、表にグレーで網掛けしたものと黄色で網掛けしたものと、白色の部分がありますが、グレーは第 3 次環境基本計画では削除した指標を表示しており、黄色の部分は第 3 次環境基本計画で新設した指標、白色の部分は継続となっている指標です。また、表の左から環境分野、施策体系項目、進行管理指標、評価したい項目、行動指針、基準年の平成 27 年度、平</p>
-----	---

成 29 年度から令和 5 年度までの状況を記載し、令和 5 年度の取り組み状況を記載しています。そしてその右は平成 27 年度と令和 5 年度との差、達成状況、まとめを担当課の順に記載しております。

本日は、指標について一部抜粋して報告します。

指標 6 の「特産物即売会来場客数」について新型コロナウイルス感染症対策や天候不良のため即売会があまり開催できず、未達成となりましたが、直売所マップやのぼりを作成し、特産物の PR を行い、地産地消の推進を行いました。第 3 次環境基本計画においては本指標にかわり、指標 8 の「直売所ののぼりを掲げる店舗数」を指標として取り組んで参ります。

指標 22 の「行政が受理する年間公害苦情件数」は未達成となりましたが、苦情が増加した騒音の問題に対しては、事業者に対して工事前などに周辺住民への説明を行うよう求めています。

指標 37 の「ごみ学習会参加者数」は新型コロナウイルス感染症の規制により、開催出来なかったことから、未達成となっていますが、より多くの保育園、幼稚園及び自治会等に利用していただけるように啓発に努めます。

指標 40 の「市の事務事業による温室効果ガス総排出量の削減量」について未達成となりました。詳細は次の審議事項で説明いたします。

指標 43 の「学校の省エネルギー活動による光熱水費削減経費」においては、

新型コロナウイルス感染症対策として、窓を開けてのエアコン運用や光熱水費の価格高騰などにより未達成となりましたが、引き続き省エネに取り組み、各学校に経費削減を呼びかけます。

指標 51 の「市の環境関連ホームページアクセス数」は基準年度と比べ大幅な増加となっており、近年の市民の環境への関心が高まっていると考えられるので、引き続き情報発信につとめます。

指標 56 の「自然フィールド研修参加者数」は基準年より 5 名増え、達成となりました。大学教授、識者の方による実施研修を毎年行うことで市内教職員、ボランティア支援員がより専門的な知見を身につける機会を設けることができました。

以上で、(1)第 2 次川西市環境基本計画について(進行管理表の報告)」の説明を終わります。

会長

それでは、審議事項(1)「第 2 次川西市環境基本計画について(進行管理表の報告)」について何かご意見等ございませんか。

事務局

資料 3 ですが、先ほどと同じように凡例の方で、「削除した指標」、「新設した指標」と書かせていただいております。これは先ほどと同様、両方見ていただけるかなと思い、こうした表現にしていますが、凡例の整理を丁寧に行うということは心がけたいと思いますので、よろしく願いいたします。

委員	<p>55番の「環境学習の促進」の項目がグレーで削減されていますよね。53番は里山体験学習なので4年生が対象ですよね。環境学習というものは、確か3年生だと思うのですが、3年生の環境学習も大変大事なことで私は思います。これを削除された理由は何でしょうか。</p>
事務局	<p>言葉や内容を再整理した結果、こういった表現になっています。生物多様性にも同じような指標があり、3年生、4年生、5年生の体験学習の指標は確かそのまま残っていたとっております。また確認をします。今回改めたところで言うと、小学校の里山体験学習実施校数で計っていく、自然フィールド研修者で計っていくといった内容の方が環境行動には合うだろうという形で再整理をしています。</p>
委員	<p>小学校の里山体験学習は、国崎に行ったりしますよね。環境学習は地元の小学校の校区内の自然環境に対応した学習を指導しなさいということになっていますが、若干この里山体験学習と環境体験学習の性質が違うと思いますので、これは別段に分け、それぞれの内容で継続していくということが大事だと思っております。検討してみてください。お願いします。</p>
委員	<p>45番の地球温暖化対策ですが、「再生可能エネルギー市内導入量を増やす」という行動方針になっています。令和4年に26MWくらいで、このくらいの量が毎年継続的に続いているのであればいいのですが、令和5年には、数値が入</p>

	<p>っていない状態です。まず目標値のような数字は出しているのでしょうか。再生可能エネルギー電力は電力と燃料がありますが、再生可能エネルギーの電力が電力消費のうち何%といった目標の比率、再生可能エネルギー電力比率を立ててはいなかったような気がします。継続的に何年までに何%という計画を作っていないといけないと思うので、今のご計画の状況、現状を教えてください。</p>
事務局	<p>今回ご審議いただく内容は第2次川西市環境基本計画のまとめだったので、黄色で示している第3次の計画からの指標については基本的にはほぼ入っていない状況です。ただ第3次環境基本計画に地球温暖化対策実行計画が入っており、計画の本編の67ページなどで、例えば「2013年度比で2030年度に50%の削減目標を達成するためには、再生可能エネルギー導入により2万トンのCO₂を削減しないとイケない」と記載しています。これらを元にして何kwの削減といった形で出していくのかなというイメージをしています。</p>
委員	<p>削減量という指標は普通の人には分かりにくいと思います。ぜひ新しい第3次環境基本計画になった段階で、再生可能エネルギー電力比率、消費した電力量の中で再生可能エネルギーの比率をこのくらいにするとといった、目標値のようなものもぜひ議論をしていただきたいと思います。目標に幅があっていいと思うので、わかりやすい目標をお願いしたいと思っております。</p>

事務局	またご相談させていただきたいと思います。
委員	2ページ目から3ページ目の「歴史的・文化的環境」が全てグレーになっていますが、これは、環境の一つとしては、取組みはしていかないということでしょうか。
事務局	<p>環境基本計画は環境基本条例というものに基づいて作っており、その項目の中に「歴史的文化的環境」というものがあったので、第2次まではずっと記載していた状況です。</p> <p>今回第3次の策定にあたり、時代が変化し、地球温暖化といったものが出てくる中で、「歴史文化」は環境問題という観点では特色が違うため、ここではなく、例えば景観の計画などに委ねていこうということで、第3次の環境基本計画からは外させていただいています。</p>
委員	3ページ目の48番「自家用車よりも公共交通を利用することが多い市民の割合」ですが、これは市民に対してアンケートなどをとって確認していくようなものなのでしょうか。
事務局	市民アンケートを元にだったと記憶しております。
委員	1番の「森林ボランティア登録数」を増やすということで、対策として補助金を交付するとされていますが、いくら補助金を出してもボランティアの登録数は増えないと思います。お金ではない部分について今後ご検討いただいたら

<p>事務局</p>	<p>と思います。</p> <p>委員にもご協力いただいたと思いますが、去年環境シンポジウムから環境フェスタに切り替えました。皆様による現地での活動についてもっと知っていただきたい、もっと自然のことを身近に感じていただきたいという思いのもと、これまで環境シンポジウムでやっていたことをもう少し幅広い方々に発信していく場として、また身近に感じていただく場として、環境フェスタを開催しています。ここの指標では補助金の話になっていますが、お金だけではなく、多くの自然活動団体様と力を合わせながら何か取り組んでいければなと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>続きまして、審議事項(2)「川西市環境率先行動計画の進捗について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは(2)「川西市環境率先行動計画の進捗について」説明いたします。お手元の資料4「令和4年度、令和5年度川西市環境率先行動計画結果について」をご覧ください。</p> <p>環境率先行動計画は、地球温暖化対策実行計画の事務事業編に位置づけており、市長を本部長とする、川西市環境率先行動計画推進本部で審議することとなっておりますが、環境基本計画に深く関わることから、今回、内容についてご助言をいただけると幸いです。</p>

今回の報告では、令和4年度と令和5年度の率先行動計画の結果をまとめて報告いたします。

資料の1ページ目をご覧ください。第5次川西市環境率先行動計画の目標値について、2024年度に2019年度比で、温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量を12%以上削減、コピー機の印刷枚数30%削減を目標としております。1ページから3ページで令和4年度と令和5年度の実績値を記載しています。2ページの表2をご覧ください。施設ごとに電気使用量を整理しております。電気の使用量について、2023年度は基準年度よりも約27%程多い状況であり、学校、病院施設、消防、その他の電気使用量が基準年度を上回っております。表2の下に、施設ごとの電気使用量の主な増加原因を記載しております。総合医療センターの開院や学校における新型コロナウイルス感染症対策によることが主な増加要因となっております。

4ページの表4をご覧ください。エネルギー使用量をもとに温室効果ガス排出量を算出すると、2023年度は増加となりました。主な原因としては、4ページの下段に示しているように、電気以外の使用による温室効果ガス排出量は減少したものの、電気の使用による温室効果ガス排出量が増加したことから、排出量の増加につながりました。

排出量はエネルギーの使用量とそのエネルギーを作る時や使用する時に排

出する温室効果ガス量を表した排出係数をかけて算出されます。表 4 下段に電気事業者別の排出係数を表しています。策定当初は、関西電力の 0.325 のみで温室効果ガス排出量を算出していましたが、2021 年度以降は、契約事業者の変更や排出係数の増加によりエネルギー使用量の増加よりも大幅に温室効果ガス排出量が増加しました。

6 ページをご覧ください。各フロアにあるコピー機の印刷枚数を集計したものです。2022 年度で、基準年度に対して目標値の 30%削減を達成し、2023 年度には目標値の 50%以上の削減と、さらに目標を達成した状況となっております。

次に、7 ページをご覧ください。設備・建築物の取り組み状況について説明いたします。建物新築や設備導入等の際は、エネルギー効率が高い機器をはじめ、人感照明センサーでエネルギーの使用を抑制するなど省エネルギーを徹底し、温室効果ガス排出抑制に配慮することとしています。省エネ設備の導入については、令和 4 年度から令和 5 年度の取り組みとして、加茂小学校で全ての照明器具を LED 化し、本庁舎 ESCO 事業で執務室等の照明器具の LED 化、空調機をエネルギー効率の良いものに交換しました。

9 ページをご覧ください。省エネ機器の導入について、令和 4 年度から令和 5 年度の取り組みとして、総合医療センター建物で、庇や屋上緑化及び遮熱断熱

ガラスを採用し日射抑制による空調負荷軽減、コージェネレーションシステムの導入を行いました。なお、令和6年度には、川西市保健センターZEB化改修工事を行うなど、取り組んでおります。

12ページをご覧ください。低公害車の導入促進について、令和5年度に公用車としてEV車（日産リーフ）を1台導入しました。

13ページをご覧ください。13ページと14ページに日々の取り組みとして職員研修の内容を記載しております。令和4年度は「電気エネルギーと環境」、「脱炭素に向けた関西電力の取り組み」をテーマに関西電力株式会社様にご講演いただきました。参加者は41名となっています。

14ページをご覧ください。令和5年度は、「地球にやさしい製品の開発」をテーマに、市内の事業者である芳川紙業株式会社様に、また「環境ラベル等グリーン購入のすすめ」をテーマに、グリーン購入ネットワーク事務局様にご講演いただきました。研修テーマから、より実務に生かせるよう、主に各課の庶務担当者の参加を呼びかけ、74名が参加しました。アンケートでは85%以上が「理解できた」と回答しています。今年度も引き続き職員研修を実施する予定としております。

なお、第5次環境率先行動計画の期間が2024年までであることから、2024年度に2023年度の環境率先行動計画のまとめ及び、第6次環境率先行動計画

<p>会長</p>	<p>を作る予定としております。</p> <p>以上で、(2)「川西市環境率先行動の進捗について」の説明を終わります。</p> <p>それでは、審議事項(2)「川西市環境率先行動計画の進捗について」何かご意見等ございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>4ページの「各電気事業者別の温室効果ガス排出量」について、だんだんに電気事業者の契約を変えてきているみたいですが、これは値段の関係なのでしょうか。再エネの電力さんを選んで契約されたということなのか、電気料金が安いからなのか、その辺りの事情を教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>各部署の詳細まで把握しているわけではありませんが、新電力さんが出てきた時に電気料金を比較し、契約をしていくといった動きがあったと認識しております。</p>
<p>委員</p>	<p>2ページの「学校と病院施設」のところ、電気消費量が増えたということに対して、電力量で言うだけではなく、病院の場合は病床が増えているため、1病床あたりの電力消費量を示すべきだと思います。学校の場合は冷房の影響が大きいと思いますので、自己努力ではもう減らない段階にきています。そのため、太陽光を入れられるところは入れて、自分たちが使う電気は自活するといった方向に変えていかなければいけないと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>例えば病院ですが、民間病院と川西市の市民病院が無くなって新たに総合医</p>

	<p>療センターができています。できる前は市民病院の病床だけでしたが、民間が合わさっていきますので、単純に川西全体で見たときにはおそらく下がっていますが、公共施設だけで見たら増えています。単純に電気の使用量だけを見比べるといった話ではなくなってくるという中で、また次の計画を策定していくに当たり、工夫があるだろうと感じているところですので、また今後ともよろしくをお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>小学校や病院は、今の暑さを考えるとなかなかエアコン無しでは過ごせない状況なので、電力量を抑えるというのはかなり難しいことになってきているのではないかと思います。そのため、太陽光を利用するという方向で努力していく必要があるのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどのお話の続きで、電気の使用量が学校や病院で増えた場合に、例えば施設が増えたのであれば数を追加し、電気量のパーセンテージのようなものを出して、実際電気量が増えたのかどうかをもう少し細かく見てみてもいいのかなと思いました。気温も上がっていますので、1年間の気温の平均を出されたりとか、そういうものもグラフの中に入れてもいいのかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>もう少し増えた原因を探る必要があるかもしれませんね。</p>
<p>委員</p>	<p>すぐでなくてもいいので、23年度の電気量が増えていることについては丁寧に分析し、頑張っているところと、実際に住民サービスがアップして電力消</p>

<p>事務局</p>	<p>費量が増えてしまっている部分と分けるといった工夫をされたらいいと思います。</p> <p>確かこのとき燃料費高騰などで事業者が立ち行かなくなり、契約が継続できないということで関西電力に乗り換えたといった状況があったように記憶しております。その辺りを記載しなければ分からない部分だなと思います。</p> <p>確かにこれから環境率先行動計画は、市長、副市長、特別職、各部長級で実施や見直しを行っていく形にはなるので、先ほどの病院の件なども丁寧に言わなければ、それがプラスなのかマイナスなのかという評価の部分も入ってくることなので、当然、病院事業を推進している担当からすると、それだけ書かれたら困るという話にはなると思います。</p> <p>また今後の動きですが、学校の体育館に空調機が入っていない状況がありますので、今後導入していく動きには当然なります。そうするとまた電気使用量が上がっていくという状況が出てきますので、その辺りをどうしていくのかは、検討していかなければといけないと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>市内でエネルギーを供給するということも少し考えてもいいのではと思います。例えば大学がある大東市では、少しずつ関西電力から大東のバイオマスの発電所に乗り換えています。少しずつ電源構成を変えるとともに、供給の可能性を少し探ってもいいのではと思います。安いからといって排出係数の高い</p>

	<p>ところを買っていることが、ゆくゆくは損するかもしれないことを考えると、前もってそういう取り組みもいいのではないかと思いました。</p>
会長	<p>里山を使うという意味ではバイオマスも考えられます。小さい規模だったらできそうですね。検討していただければと思います。</p>
会長	<p>続きまして、審議事項(3)「第3次川西市環境基本計画について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは(3)「第3次川西市環境基本計画について」説明いたします。</p> <p>令和4年度と令和5年度にかけて、各委員の皆様にご意見をいただきながら第3次川西市環境基本計画の策定に取り組んで参りました。策定については令和5年10月5日の、令和5年度第2回川西市環境審議会で答申をいただいた後、市議会、パブリックコメントにて頂戴したご意見をもとに修正をしております。</p> <p>修正した内容については、資料5-1「令和5年12月19日 総務生活常任委員協議会資料 第3次川西市環境基本計画(本編)(案)修正対比表」、資料5-2「令和5年12月19日 総務生活常任委員協議会資料 第3次川西市環境基本計画(資料編)(案)修正対比表」に記載しております。修正した主な内容としては、PFASの説明や、香害の説明の追加、および文言の修正などです。</p> <p>次に資料5-3「令和6年度地球温暖化対策関連の進め方について」をご覧ください。</p>

ださい。令和6年度から特に地球温暖化対策の区域施策編の目標達成に向けて取り組んで参ります。策定時の審議会でもご説明しましたが、地球温暖化対策実行計画では、基準年の2013年度に対して2030年度の温室効果ガスを50%削減することを目標としています。ただし、排出量は自治体カルテの数値を計上していく予定のため、川西市の削減量は、全国の排出量を按分されたものとなるなど、市の取り組みが見えにくくなっています。そこで、川西市では、本市における市民、企業、市等の市内における温室効果ガス削減の取り組みを見える化することを考えております。冊子「第3次川西市環境基本計画本編」の70ページになります。ここで、記載する事業者等については、一定のルールや仕組みが必要と考えており、今考えている仕組みとしては、パートナーとなる企業を公募し、各企業から、川西市内での温室効果ガス削減の取り組みや削減量を報告していただき、川西市独自の温室効果ガスの削減量を見える化する予定としております。パートナーとなった企業の取り組みや削減量は、市ホームページ上に公開するなど市から情報発信することを考えております。公開することで、各事業者の取り組みの発信を行う場となったり、他の企業の取り組みを参考にして自社の取り組みを進めていただいたり、企業間の連携が生まれるなど、温室効果ガスの削減が広がるようにできればという狙いです。

スケジュールにつきましては、企業様とのヒアリングをもとに、連携のため

<p>会長</p>	<p>の応募条件等について整理を行い、公募を進めていく予定としています。</p> <p>以上で、(3)「第3次川西市環境基本計画について」の説明を終わります。</p> <p>それでは、審議事項(3)「第3次川西市環境基本計画について」何かご意見等ございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料53の「川西市ゼロカーボンシティチャレンジパートナー企業について」ですが、申請して承認するだけでなく、情報を共有できるような場を設けるなど、実際に取り組むときに必要な様々な素材を提供できるプラットフォームのような形にしたらいいと思います。大阪府さんはプラスチックの対策でプラットフォームを作っており、それでうまく機能しているので、ぜひ取り組んでみてはいかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>1ページ目の「本計画のポイント」という部分で市の関わり方というものを記載しており、市はプラットフォームの形成に積極的に関与していくと謳っています。まず最初は、中小企業様にも気軽に入ってもらえるような形で、基本的には連携協定とかではなく、申請と承認という形で作っていきたいと思っています。ただ、一定集まってくる中で、まさにおっしゃっていただいたような「企業間の繋がり場になったらいいよね」といったお話も出ていますので、同じ感覚を持ちながらそういったグループ形成ができればなと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>燃料消費はかなり大変で、大企業さんの場合は報告義務がありますので、省</p>

	<p>エネ法で自動的にやっていると思いますが、中小さんの場合はそこまで専門の人を配属できるかという点でも、かなり大変だと思います。そのため、ゼロカーボンシティチャレンジパートナー企業は魅力的なプログラムで期待しておりますが、まず参加していただくためにも、チャレンジパートナー企業を募集するときに、「消費電力と燃料消費量をまず記録してください」、「記録するのに協力してください」、「記録して自分で考えていきましょう」という方針で行い、表彰してあげることをぜひやってください。</p> <p>特に川西の場合、そんなに大きな企業さんはありません。5,000万円以上くらの資本金の企業さんがいくつかあり、空港が近いので精密機器の設計を行っている会社もあります。精密機械の部品を設計されており、海外にも輸出するような部品を作っている場合は、ヨーロッパの場合炭素税が3年後、4年後くらいにはだんだん高くなっていきますので、まず自分がどのくらい燃料を使ってるか、電気を使ってるかを計算できる状態でないと、輸出もできなくなります。</p> <p>草案を作りながら試行錯誤しながらやっている中で貴重なご意見ありがとうございます。またそういった部分を盛り込みながら、より良いものができたらと思っています。</p> <p>環境基本計画の進行の方法で、「PDCAを回して都度環境審議会で見解を求</p>
事務局	<p>草案を作りながら試行錯誤しながらやっている中で貴重なご意見ありがとうございます。またそういった部分を盛り込みながら、より良いものができたらと思っています。</p>
委員	<p>環境基本計画の進行の方法で、「PDCAを回して都度環境審議会で見解を求</p>

事務局	<p>める」とありますが、例えば再生可能エネルギーの市内導入量を年間を出すのか、あるいは四半期ベースなのかといった表はないのでしょうか。</p> <p>おっしゃっていただいたとおり PDCA サイクルでチェックをしていきます。当然 1 年でさほど進まないこともあります。基本的には環境審議会での状況を報告させていただく中で、数字だけではなく、より良いアイデアやご提案がありますので、毎年やっていくという形を考えています。</p>
委員	<p>1 年間のうちの半年経ったくらいで項目の達成具合が見えないと 1 年経ってからできませんでしたとなりかねません。そのため、例えば半年ごとにそれぞれの項目の数値の推移を出すべきだと思います。1 年経って、対策が間に合うかどうかということをお心配しています。</p>
事務局	<p>環境基本計画は 8 年間の計画です。毎年チェックをいただいて次の施策に反映させていくのが基本的な考え方かなと思います。ただ、例えば 4 年経った中間で、途中経過の報告が必要な緊急を要する場合については、会長の方から審議会を臨時で開いていただいて、審議するといったことも状況によってはあるのかなと思います。ただ基本は、8 年間で目標を達成していくにあたっての進捗と、次のアクションをチェックいただくという仕組みなのかなと思います。</p> <p>・「次第 9、その他」</p> <p>内容</p>

会長	続きます、「次第9、その他」です。何かございませんか。
事務局	<p>お話が出ていた重点加速化事業と先行地域について、今認識している状況をお話しできればなと思っています。先ほど委員がおっしゃっていただいたとおり、いの一に手を挙げていけば、結構通るという状況です。数年前は手を挙げれば事業として通るといような状況が続いていたと聞いております。</p> <p>ただ、今、先行地域は民間企業などを巻き込みながらやっていかないといけない状況です。例えば尼崎市さんでは、野球の阪神の2軍といった特殊な要素を交えていると聞いたことがあります、特殊要素がないとなかなか通りません。一方で、重点加速化事業は、ソーラー発電のワット数の縛りがありますが、それ以外は結構自由で、各市都道府県も含めてかなり手を挙げている状態と聞いています。また、例えば重点加速化事業の補助金を市の予算で倍に増額させるといったことを行うと加算点を加えるといった説明は聞いている状況です。</p> <p>現在では多くの自治体が手を挙げており、採択されるにはなかなかハードルが高い状況なのかなというのが現状認識です。ただ一方で、環境に関わる補助金のメニューは国交省や経産省といったあらゆるところから出てきているので、重点加速化だけではなく、幅広く視野に入れながらできることをチャレンジしていこうと思っているところです。</p>
委員	先行地域だけではなくて、様々なものを使って応募していただけたらと思い

	<p>ますし、何かやっていれば、いつかどれかに当たると思いますので頑張っていたきたいと思います。電気料金のことですと、市内に太陽光かバイオマス等を取り入れて、再エネ電源で発電するという取り組みに一步踏み出していたいて、その電気を学校や病院に供給していただきたいと思います。また、これだけ気温が暑くなっているにも関わらず、体育館に冷房が付いていません。体育館という室内で運動をし、熱中症で運ばれる、亡くなるニュースを聞くと何とも言えない気持ちになります。学校は安全に学んでスポーツができなければなりません。市役所がお金がないからというような理由で子供さんたちに負担をかけるのも良くないので、安全に生活できる学校を作ってあげようという方向で、学校をグリーン化するという方向で、地道に再エネを学校に導入する計画をぜひ考えていただきたいと思っております。</p>
委員	<p>体育館の上に太陽光パネルを設置できないのでしょうか。</p>
所管課	<p>元々建てる際に、太陽光を設置するような想定をされていません。</p>
	<p>ただ一方で、太陽光パネル自体が軽くなっており、様々な方法で設置することも可能になってきているので、検討する余地はあると考えているところで</p>
	<p>す。</p>
委員	<p>新しい技術による太陽光パネルを川西に入れるというと、どこから補助金</p>
	<p>が出るかもしれませんね。</p>

<p>会長</p>	<p>コンクリートで発電するという仕組みがあり、発電効率はあまり良くないらしいのですが、面積が大きいので合計すると相当能力があるのではないかとされています。だんだん技術が発達してきているので、そういう新しい技術が出てくるかもしれません。できるだけ自然エネルギーを利用するような方向で進めていただけたらと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>屋根にも設置するといった視点も実際検討はしています。時々状況に合わせてながら、タイミングを見て、できる限り脱炭素に向けて動いていかなければなりません。ただ、様々な要素が関わってくるので、極端に偏るのではなく、全体を見ながら脱炭素に向けて動いていく立場なのかなと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>他に何かございませんか。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員より、環境審議会の開催日を固定、例えば毎年9月の第3木曜日などにすれば、各委員の日程調整も行いやすくなるのではとご助言いただきました。事務局で検討したのですが、会議場所の確保を含め、他の調整が困難なことから、環境審議会の開催日については、例えば9月と2月のように開催月だけを固定化し、日程調整は早めに行うなどして委員の皆様にご参加いただきやすいような進め方を検討していきたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>他に何かございませんか。</p>
<p>事務局</p>	<p>最後に事務局からお知らせがございます。</p>

	<p>今後のスケジュールですが、次回審議会は2月頃に開催予定であります。委員の皆様、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>他に無いようでしたら、「次第9、その他」について終わります。</p> <p>それではここで司会を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>会長、ありがとうございました。</p> <p>それでは、閉会にあたりまして、事務局代表より一言ご挨拶申し上げます。</p>
事務局	<p>長時間にわたり熱心にご協議いただきありがとうございました。この審議会は委員の皆さんから意見をいただいて初めて成立するものだと思っており、本日も様々な提案をいただいて助かっております。</p> <p>平成11年に川西市でラグビー部の生徒が熱中症で亡くなるという事故がありました。今後そういうことがあってはいけないという中で、取り組みはずっと続けてきました。非常に暑い日が続いており、そもそも野外での活動は非常に難しい、屋内での活動も空調機がなければ難しい中で、担当の方では空調機を付けるべく、前に進んでいるというふうには聞いています。そのため、その辺りについても、環境を含めて取り組みができたらという考えです。担当もおりますのでしっかりやらなければと思ってくれているとは思いますが、ご意見いただいております。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>また来年になりますが、2月に開催させていただく予定ですので、よろしく</p>

お願いいたします。本日はありがとうございました。

以上を持ちまして、令和6年度第1回川西市環境審議会を閉会いたします。

本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございました。お忘れ物の無いよ

うに、気を付けてお帰り下さい。尚、受付の際、駐車券をお渡し頂いた方は、

お返ししますのでしばらくお席でお待ちください。